

災害に強いまちづくりと自主防災組織の課題

佐藤理美議員

答弁 課題は各自の防災意識を高めること

問 近年、猛暑や豪雨といった極端な気象の発生が増加しており、また、東日本大震災以降、火山の噴火や余震が頻繁に起こっている状況です。そこで、防災・減災対策の取り組みに関して、町での自主防災組織の活動状況と課題について伺います。

答 現在、町では65の防災組織が自ら作成した年間事業計画に基づき活動を実施しています。具体的な活動としては、初期消火訓練や各区に常備してある防災資機材を使用した防災訓練等を実施しています。課題は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という町民1人ひとりの防災意識をさらに高めていくと考えています。

問 町の避難所として指定されているコミュニティセンター・地域公民館等への「防災ラジオ」設置の考えについて伺います。

答 現時点では設置は考えていません。

老朽化した火の見櫓は何基？

問 老朽化の進む「火の見櫓」に関して、件数と経過年数について伺います。

答 町内に15基確認しており、設置後50年以上経過していると認識しています。

問 「火の見櫓」の撤去計画等について伺います。

答 火の見櫓撤去の明確な計画はありません。今後、老朽化の進むものについては、地域や地元消防団等の意見・要望を踏まえた上で調整を行っていきたいと考えています。



老朽化の進む火の見櫓



健診結果を生かしたい（イメージ）

問 糖尿病の重症化による人工透析への移行は、患者や家族の身体的・精神的負担のみならず医療費を増大（国保会計・年間500万円程度）させ、国保財政を圧迫しています。県内では入間市が単独で取り組みを始めており、知事も来年には全市町村に拡大させると新聞で報道されています。県内の状況について伺います。

答 県内19市町で糖尿病性腎症重症化予防対策事業を開始しています。この事業では糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、県や国保連合会・医師会と連携し、特定健診やレセプトのデータを活用して抽出した重症化するリスクの高い方に対する受診の呼びかけや生活習慣改善支援の案内を行い、取り組んでいます。

寄居町はどう取り組むのか

問 当町ではどのように取り組んでいく考えですか。

答 先行市町の実績等が今後情報提供されるのを踏まえ、必要な経費・人員・事務量を積算した上で検討していきます。

問 「特別糖尿病教室」の開催により、正しい対処法を学ぶ機会をつくる考えはありますか。

答 特定健康診査の健診結果をもとに健康相談を実施するとともに、生活習慣の改善のための特定保健指導を行っていますので、「特別糖尿病教室」は考えていません。

人工透析への移行を防ぐための対策を

田母神節子議員

答弁 重症化リスクの高い人に呼びかけなどを実施

Setsuko Tamogami

産業・経済の成長戦略は

峯岸克明議員

答弁 本年中に創生総合戦略を策定します

問 安倍内閣の経済政策により一部には経済の好循環が見え始めましたが、地方においてはその実感は乏しいと言わざるを得ません。GDP（※2）の70%を占めるサービス業の創生が重要です。グローバル経済と一線を画すローカル経済、寄居町の産業・経済の成長戦略について伺います。

答 ホンダ寄居工場の稼働、資源循環工場第2期事業地にも関連企業が進出しているなどの好循環も見え始める一方、市街地商店街の現状や就業人口が減少している農業の現状などを見ると憂慮される状況となっています。極めて重要な課題ですので、本年12月までに策定する「寄居町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で庁内組織を挙げて検討していきます。

寄居にとってもチャンスでは？

問 深谷市が関越自動車道花園IC付近に誘致を進めているアウトレットモールは、平成30年のオープンで店舗数約200店、年間来客数約600万人の規模となり、関東では最大級であると聞いています。寄居町においても大きなチャンスだと思いますが、今後の取り組みについて伺います。

答 昨年、深谷市を中心に「花園IC拠点整備プロジェクト観光連携協議会」が発足し、寄居町も参加して、公共ゾーンの活用などを検討しますが、町としても受け入れ態勢の整備検討など、誘客体制づくりに努めていきます。



アウトレットモールのイメージ図

※2 GDP（Gross Domestic Product 国内総生産）…日本の国内で、1年間に新しく生み出された生産物やサービスの金額の総和のことです。その国の経済力の目安によく用いられます。

寄居町の今とこれから
一般質問

今回は8名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが**一般質問**。議員は政策提言も含めて質問することができます。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに1項目を要約版でお知らせします。

※すべての発言内容は町立図書館に置いてある会議録でご覧いただけます。またインターネットでも順次公開する予定です。（会議録に関するお問合せ：議会事務局 048-581-9995）

町の姿勢・行政運営	平成27年度統一地方選の検証	峯岸	
	次期総合振興計画基本構想	津久井	
	県立長瀬玉淀自然公園	石井	P.9
	マイナンバー制度実施への取り組み	鈴木	P.10
まちづくり・くらし	産業振興と地域活性化	峯岸	P.6
	防災・減災対策の取り組み	佐藤	P.7
	消費者庁から貸与されている放射能検査器	神田	
	災害時にも使える住宅リフォーム助成制度の拡充	大澤	P.8
	(仮称)寄居PAスマートIC	津久井	P.9
	町道の拡幅工事に伴う残地処分	津久井	
福祉・医療・健康	糖尿病患者の重症化防止による医療費削減	田母神	P.7
	一人親家庭の子どもたちに対する補助金	田母神	
	高齢者肺炎球菌ワクチン接種の取り組み	佐藤	
	健康長寿埼玉モデル（プラス1000歩運動）実施計画	石井	
	認知症高齢者対策	鈴木	
歴史・文化・教育	英語検定試験の受験無料化の取り組み	佐藤	
	寄居北條まつりと流鏝馬	神田	P.8
	寄居町指定の天然記念物「エドヒガンザクラ」	神田	
	学校給食の無償化	大澤	